

学校生活三原則  
時を守り  
場を清め  
礼を正す



学校だより

# 中央中だより

第31号

平成24年10月30日

尼崎市立中央中学校

〒660-0051 尼崎市東七松町2丁目5番67号 TEL (06) 6481-5351 Fax (06) 6481-5352 <http://www.ama-net.ed.jp/school/J03/index.htm>

## 文化祭に見えた中央の絆

「未来へ伝えよう  
中央の絆」



3年学年合唱

10月24日(水)に1・2年生の「合唱コンクール」、25日(木)に3年生の「合唱コンクール」、そして26日(金)には、さわやかな秋晴れのもと、体育館で「第8回文化祭」が行われました。

生徒会のテーマである「中央の絆」については、各学年の合唱コンクールで、全クラスが一つになれていました。特に、3年生はどのクラスも「最優秀賞」を目指して、進んで合唱に取り組んでいました。今年も、中央中は「こころ一番」に強い子どもたちでした。上級生になるにつれて、目的意識に基づいた「パワー」と温かさのある「団結力」が上がっていきます。3年生には、思い出に残る文化祭になり、また、後輩たちも3年生の合唱を見て、いいお手本にできたと確信しています。

また、生徒会の「中央ソーラン」、英語スピーチ、有志ダンス、幕間の司会、学年合唱、吹奏楽演奏など、3年生の「らしさ」が発揮できていました。行事で一段と成長していく、中央の伝統は健在です。盛り上げるときは盛り上げ、やるときは真剣にやる。生徒も先生も一つになれる、そんな中央を私は「誇り」に思います。

さて、合唱コンクールの結果を紹介します。

### 各学年「合唱コンクール」優秀賞クラス

【1年】5組・6組 【2年】1組・6組 【3年】3組・5組

最優秀賞(アルカイック出場クラス)→3年5組

アルカイックの中高合同音楽祭には3-5が本校を代表して出場します。337拍子、全校生の気持ちをこめた合唱を期待しています。(11/2、12時~)

迫力のあるお母さん合唱もあつたり、PTAのフラワーアレンジメントで受付・来賓席に色を添えていただいたり、みんなで創り上げたみんなの文化祭でした。16名のご来賓、213名の保護者の皆さん(特に「受付」をお手伝いくださった役員の方々)最後までご観覧・ご支援ありがとうございました。

### 最優秀賞3年5組の喜びの言葉

3年5組 石井 佳佳  
最初はみんなやる気があるのかのかわからず練習が始まったけれど、毎日少しずつみんなのやる気が出てきて、指摘されたところは直そうと頑張って練習して、そういうことの積み重ねで団結力が出てきて練習が楽しくなってきました。でも、私のパートはアルトですが、なかなか音程がつかめなくて、ソプラノにつられたりして悩んでいました。最近マシにはなりましたが、低いのが急に高くなったりしてとても難しいです。(泣) そんなときはアルト仲間仲間ながら頑張りました。そんな練習が何日も続いて、合唱コン当日、みんなの努力を出し切って優秀賞。でもそのときは喜ばず、文化祭当日は、のどがつかぶれていたけど、みんな頑張って歌って、結果発表で5組といわれて、みんなで飛び跳ねました。みんな、他のクラスの方も、アルカイック頑張ろうね! 5組ならできる!



展示見学



英語スピーチ



中央ソーラン



吹奏楽部

## 尼崎市立中学校総合体育大会

10月20日(土)、市内19校の代表選手がベイコム陸上競技場に集まり、陸上の走・投・跳を競い合いました。本校選手も最後まで全力を出し切り、特に「女子総合」では第6位に入賞することができました。本校の入賞者は次の通りです。

- 第1位 2年女子400mリレー (石丸・梶原・中島・新田)
- 第2位 3年男100m 吉岡(3-3)  
3年女1000m 藤田(3-4)
- 第4位 1年男400mリレー (金田・山田・池田・福本)
- 第5位 1・2年男100m 幸田(2-3)  
3年女400mリレー (濱口・田中・平山・久水)  
女子ハンドボール投 八十原(3-5)
- 第6位 女子走り幅跳び 長濱(3-5)

ここでも、中央生の「絆」と「フェアプレー精神」「集中力」を示すことができました。

### がんばった生徒たち

秋の全国交通安全ポスターコンクール

佳作 内海桃香(3-1) 太田舜人(3-3)

尼崎市中学校理科作品展

優秀賞 谷口絵乃(3-1)・島村七晴(2-5)

・高橋菜々子(1-1)・鳴海花菜(1-2)

西愛実(1-4)・金田直樹(1-5)

西田照(1-6)・森美雪(1-6)

社会科作品展(歴史新聞・地理新聞)

最優秀賞 岩本利樹(2-4)

優秀賞 正木千尋(1-1)・高橋菜々子(1-1)

藤田佳那(1-2)・小山萌(1-3)・井手郁佳(1-4)・西愛実(1-4)・浅井愛実(1-5)・林聖月(1-5)・森美雪(1-6)・中谷楓(1-6)・橋本彩夏(2-1)・大形美沙季(2-2)・細谷愛(2-3)・内間太一(2-5)・堀木雄介(2-6)・下田幸実(2-6)

### 「文化祭を終えて」の感想

『生徒会でもクラスでも忙しくて、いつになったら終わるのかと思っていたけど、終わってみたら、燃え尽き方が半端なかった。朝はクラス、放課後はクラスちょっとで、夜まで「生徒会ソーラン」の練習。合唱練習は、家でも練習したりカラオケに行っても歌ったり、常に合唱のことを意識していた。たぶんみんなもそうだったと思う。そういう一人一人の努力で優勝できたんだと思う。生徒会のソーランの練習は、今までとは違う動きに加えて、「中央史上最高のソーラン」っていう「スローガン」があったから、ゼロからのスタートといってもよかった。そうやって頑張ったから評判がよかったんだと思う。今回の文化祭では、何事も頑張ることが大事だということを学んだ。「努力は裏切らない」信じてはいないけど、だからといって努力をしないいい理由にはならないと思う。』 島 裕聖(3-5)

『今回の文化祭はずっと委員の仕事で舞台裏にいて、正面から見なくて残念だったけれど、とてもやりがいがありました。僕は別に表に出ることもなく、見えないところにいたけれど、あの全学年の前で、ネタやダンスをするなんて考えられなかったと思います。裏では司会の人やソーランを踊った執行部の人と少し話せたけど、役目を終えた人たちは全員いい顔をしていたと思います。アルカイックにはいけなかったけれど、文化祭で歌うことができ、この文化祭で3組はもっと強くなったと思いました。卒業まで、全員がまとまれたらいいなと思いました。』 嶋田春輝(3-3)



阪神総合文化祭出展作品

